

北海道における 新型コロナウイルス感染症の新展開



人と動物、ともに健やかに
生きるためにできること

日時 | 2023年
4月16日 日
10:00-12:00

場所 | 北海道医師会館
8階会議室 (Web併用)
札幌市中央区大通西6丁目

参加をご希望の方は、裏面の申込み方法をご確認ください。

お問い合わせ | 北海道医師会事業第二課 | TEL.011-231-1725
北海道獣医師会事務局 | TEL.011-642-4826

program

●開会	司会：北海道医師会 常任理事 荒木 啓伸
●挨拶 10:00	北海道医師会 会長 松家 治道 北海道獣医師会 会長 高橋 徹
●講演 10:10	座長：北海道医師会 常任理事 三戸 和昭 新型コロナウイルスに感染した 伴侶動物の臨床症状とその対策 ～国内初発症猫の経過～ やまだ動物病院 院長 山田 恭嗣 先生 北海道の新型コロナウイルス感染症 対策について 北海道保健福祉部 技監 人見 嘉哲 先生
●ディスカッション 11:30	
●閉会	

2019年12月に中国武漢市で最初に報告された新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、瞬く間に世界各国に拡散し、今なお世界的な流行を起こしています。原因ウイルスは各地で独自の変異を繰り返し、世界各国から様々な変異株が報告されています。北海道はやや落ち着いた感ではありますが、一時は人口の全く異なる東京と匹敵する感染者数で道民の不安を招きました。また、これまでもイヌやネコの伴侶動物への感染が報告されていたものの、昨年、北海道から国内初の飼い猫での発症事例が報告されるなど新たな展開を示しています。昨年、本連携シンポジウムでは「コロナ禍における医学・獣医学の連携」と題して、獣医学サイドから動物で変異を遂げた新型コロナウイルスが人類の脅威になる経緯について東京農工大学の水谷哲也先生に、医学サイドから新型コロナウイルス検査の実際と検査別の特性と解釈について札幌医科大学の高橋聡先生にご講演いただきました。今年も道民の関心も高いCOVID-19を再度取り上げて、獣医師側と医師側からのトピックについてご紹介いただき、本病克服のための医学・獣医学の連携の強化について考える機会にしたいと思います。

※本シンポジウムの受講により、日本医師会生涯教育講座の以下の研修単位を取得できます。
1単位 [カリキュラムコード 8.感染対策、11.予防と保健]

主催：一般社団法人 北海道医師会 / 公益社団法人 北海道獣医師会 後援：北海道

【 申込み方法 】

受講形式

会場と会場からのWeb会議システム「Zoom」によるLIVE配信での受講がありますので、どちらか一方を選択してお申込みください。

受講定員

60名（北海道医師会館 8階会議室）
300名（Zoom参加）

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策で、ソーシャルディスタンスを十分に確保するため、会場定員は従来の1/2とさせていただきます。

参加対象

医師・獣医師・医療関係者・獣医療関係者・その他
※特に限定はいたしませんので、広くご参加ください。

申込方法

右記QRコードまたは
下記申込URLより受付フォームへ進み、
必要事項を入力してお申込みください。
申込後に招待メールを送信します。



申込URL

https://zoom.us/webinar/register/WN_T4mowBqKRL2a3lqn5mbxcQ

※ご連絡いただいたメール本文に上記申込URLを貼り付けて返信することも可能ですので、ご希望の方はお申し付けください。
(Eメール：2ka@m.doui.jp)

※迷惑メール防止のため受信設定をしている場合は、「@m.doui.jp」と「no-reply@zoom.us」からのメールが受信できるよう設定をお願いいたします。



申込締切

令和5年4月3日(月)

※定員となり次第、参加申込受付を終了いたします。

- ◎新型コロナウイルスの流行状況によっては、会場での開催もしくは講座そのものを中止させていただくこともあります。その場合には事前にメールで通知いたします。
- ◎会場でのマスクの着用及び手指消毒等、感染予防の徹底に御協力をお願いいたします。
- ◎会場入口に手指消毒用アルコールを準備し、講義時間帯では十分な換気を心がけます。
- ◎申込みいただいた際の個人情報は、原則として本シンポジウム関係者(担当役職員・講師等)でのみ共有し、それ以外に使用いたしません。

